



一貫コース通信

最適化した学びの方法の習得を

コロナウイルス感染症の罹患者が急激に減少し、10月から行動制限が段階的に緩和され少しずつ人々の動きが平常に戻りつつあります。この間、多くの方々が亡くなられ、今も尚多くの方々が入院、自宅加療され、そして多くの医療従事者が今も懸命に命を守ろうと努力を続けて下さっていることを忘れてはなりません。今後も気を緩めることなく、『感染しない』、『感染させない』を徹底しながら、でき得る限り有意義な教育活動を推進してまいります。11月に入り、高校2学年長崎研修旅行、そして中学2、3学年、高校2学年東京地区大学見学研修会が行われました。是非、研修の機会を得た生徒諸君には、得るもの多き研修にしてほしい、そして今後の生活にいかせるものにしてほしいと強く思います。

さて、今回のコース通信では、中高一貫教育6ヵ年で生徒の皆さんに望みたいことを認めさせていきたいと思えます。これからの社会は益々グローバル化やテクノロジーの進化が著しいものになることは間違いのないでしょう。インフラも大きな転換期を幾度も迎え、交通網、通信網、電力網、そしてコミュニケーションの手段・媒体等も大きく様変わりしていくと想像できます。つまり、将来の予想がつきにくい不確実性が増す社会が到来するといわれています。そして、日進月歩のITテクノロジーにより私達の日常生活はますます便利で快適になるでしょう。今後はITテクノロジー産業の発展が著しいアジア（中国、韓国、インド等）の台頭が大いに考えられます。これによりGAF*Aの一強体制の勢力図にも変化が生じる可能性があるでしょう。テクノロジーの発展は社会全体のインフラを大きく変えてしまいます。最近ではネットバンキングにより、いつでもどこでも通帳の照会や振込等が行えるようになっており、デジタル化やライフスタイルの変化により今後も銀行の店舗型支店の在り方は変化していくでしょう。これは1つの例に過ぎません。10年先の未来は驚くほどの速さで変化を遂げることが予想されるのです。だからこそ、生徒の皆さんにはこの6ヵ年を「学び方を学ぶ」期間にしてほしいと思っています。つまり自分に最適化した学びの方法の習得です。一人ひとり個性があるように、学び方にも個性があります。自分の最適な学習方法はこれだといえるものの有無が重要だということです。この習得には、日々の学習活動において、学習法をブラッシュアップして最適化していく必要があります。ただし学びの方法が確立しても、学びの質が担保されなければ片手落ちです。この点を考慮して、常に今のやり方が最適な学習法であるのかを自問自答してほしいのです。これからの社会では、一生のうちに何度も物事のやり方を変えなければならない場面に出くわすでしょう。以前の方法をいったん頭から消去し、新しく学び直す機会がこれまで以上に多く訪れるのです。そんなときに、自分に合った方法で、環境に適応しながら学ぶスキルが役に立つことでしょう。何事もすぐにできる人がいると同時に、そうでない人がいることも事実です。その人と同じ方法で上手くいくとは限りません。つまり自分のやり方があることが大切なのです。それを習得するには、一つのことを突き詰め論理的な理解ができるまで考え抜くことを数多く経験し、理解する経験値をひたすら積み上げることです。これは高校卒業までには習得すべきスキルだと思うのです。是非生徒の皆さんには、これからも自分を磨き続け、一生ものの「最適化した学びの方法」を習得し、次のステージへ進んでほしいと願っています。そして、このスキルを人生の「転ばぬ先の杖」とし、未来を大きく拓いていきましょう。



* : GAF*A…Google、Apple、Facebook、Amazonの頭文字をとった造語。ITを駆使した世界最大と言われる大企業である。